

令和6（2024）年度 就職先アンケート調査報告書

1. 目的

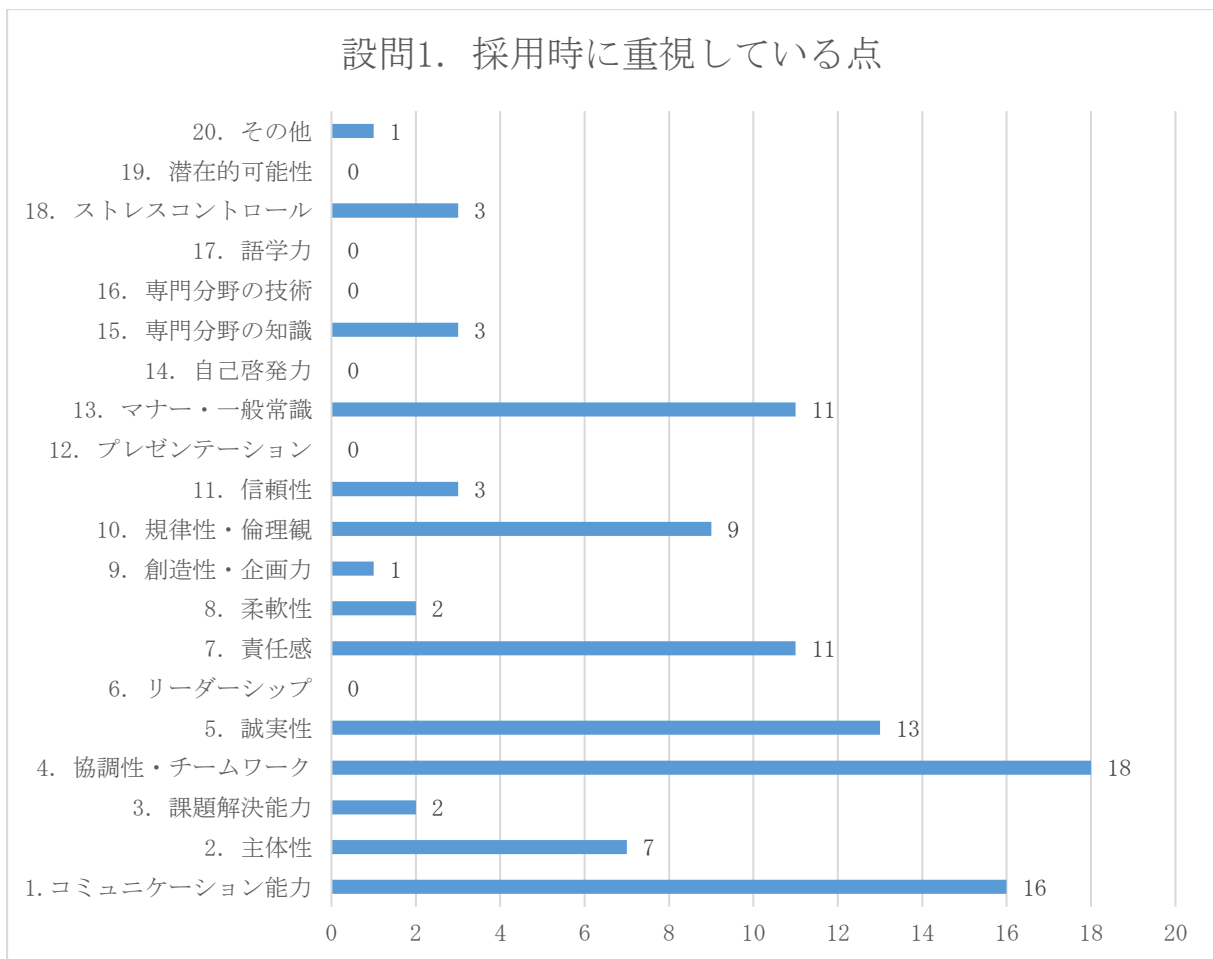
卒業生の就職先にアンケート調査を行い、本学の教育改善を図るための参考資料として活用する。

2. 方法

- 1) 調査期間：令和6（2024）年7月12日（金）～令和6（2024）年8月9日（金）
- 2) 調査対象：令和4年度卒業生採用の37施設（別紙1参照）
- 3) 回答方法：書面及びGoogle フォームいずれかによる回答
- 4) 設問内容：別紙2参照
- 5) 集計数：依頼37件中20件回答（Google フォーム10件、文書返送10件） 回答率54%

3. 集計結果

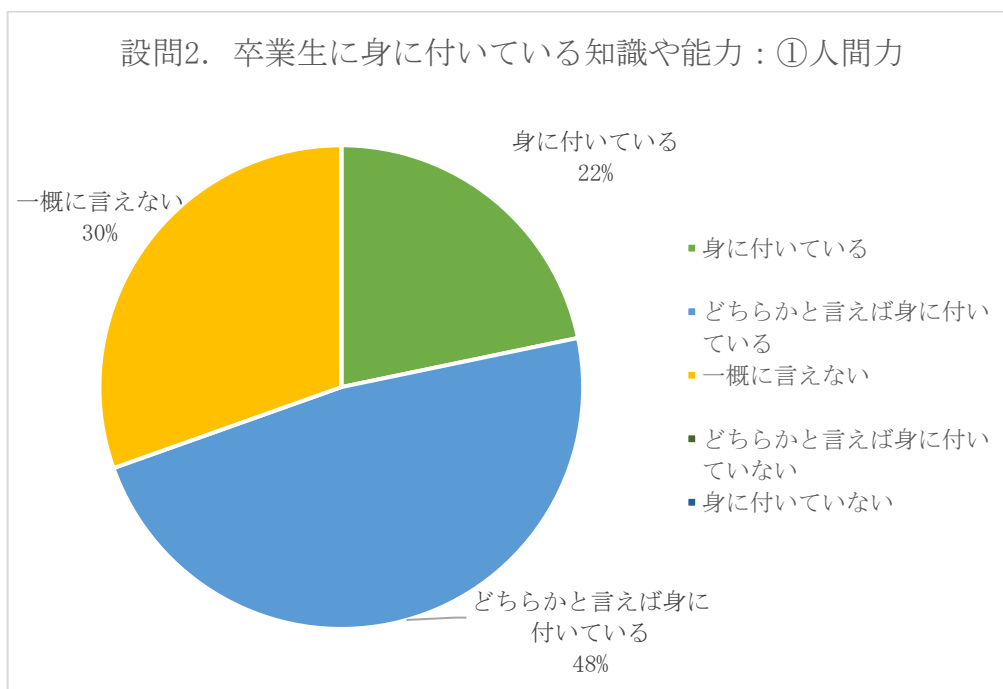
- 1) 設問1 看護師・保健師として採用時に重視している資質・能力について（複数回答）



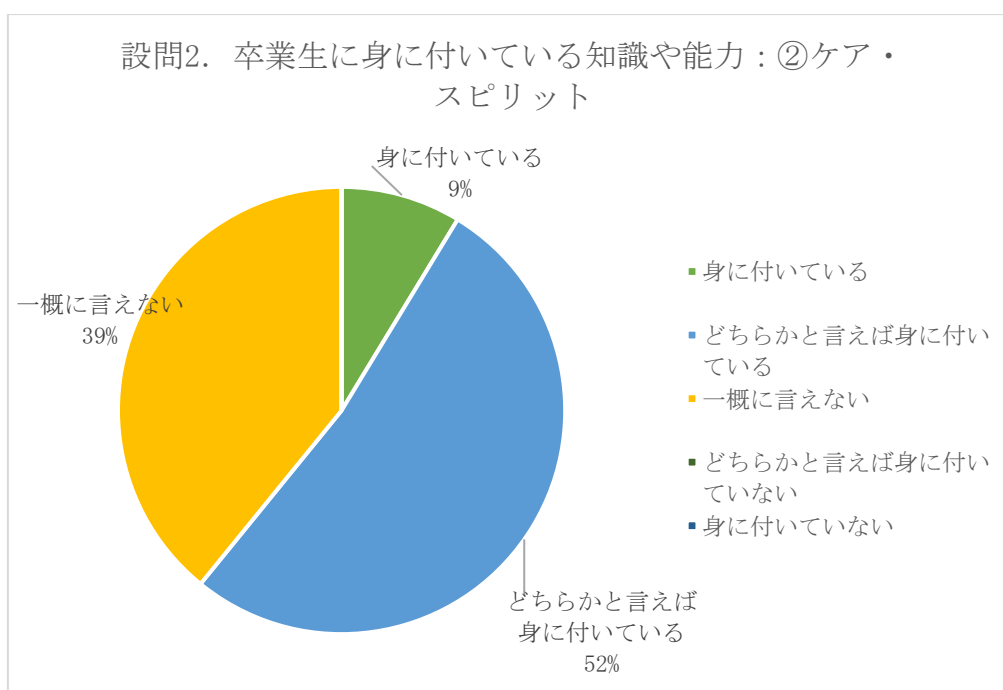
「協調性・チームワーク」が18件、「コミュニケーション能力」が16件回答され、ほとんどの施設が他人と関わる能力を重視していることが窺えた。次点では「誠実性」が13件、「責任感」及び「マナー・一般常識」が11件回答され、多くの施設が個人の価値観や行動原理、社会的規範等の人間性を重視している傾向が見えた。

2) 設問2 本学が掲げる DP6 項目が卒業生に身に付いているかどうかについて

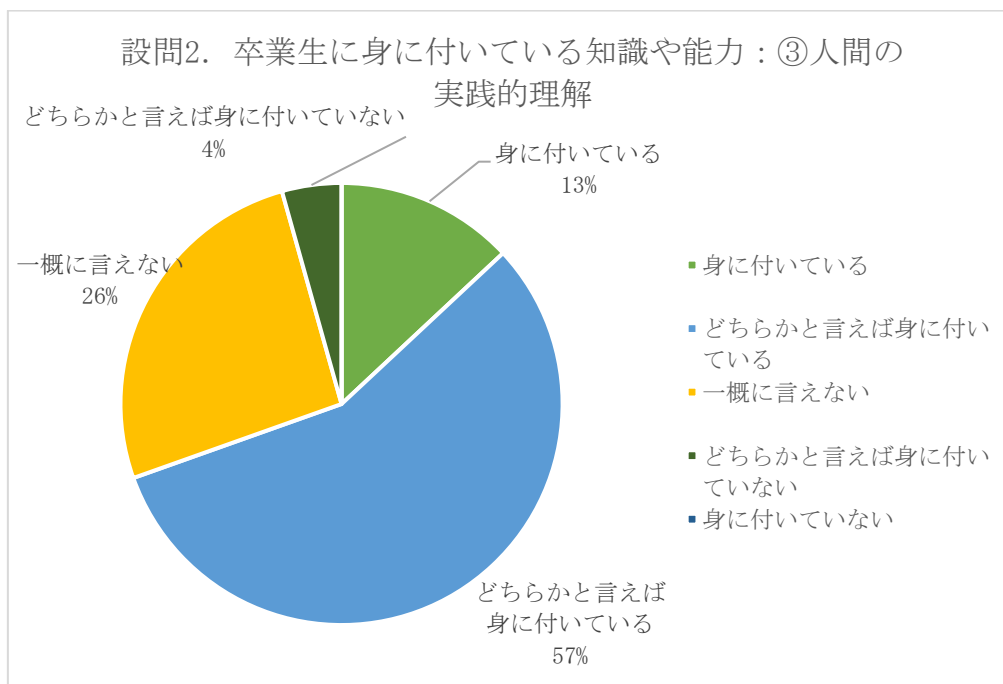
項目①「人間力：周囲の人々とコミュニケーションを通して理解し合い、共感し合い、協働することができる。」は「身に付いている」「どちらかと言えば身に付いている」の合計が70%となり、本学卒業生が「1)」で重視されていた人間力が備わっている傾向であることが分かる。



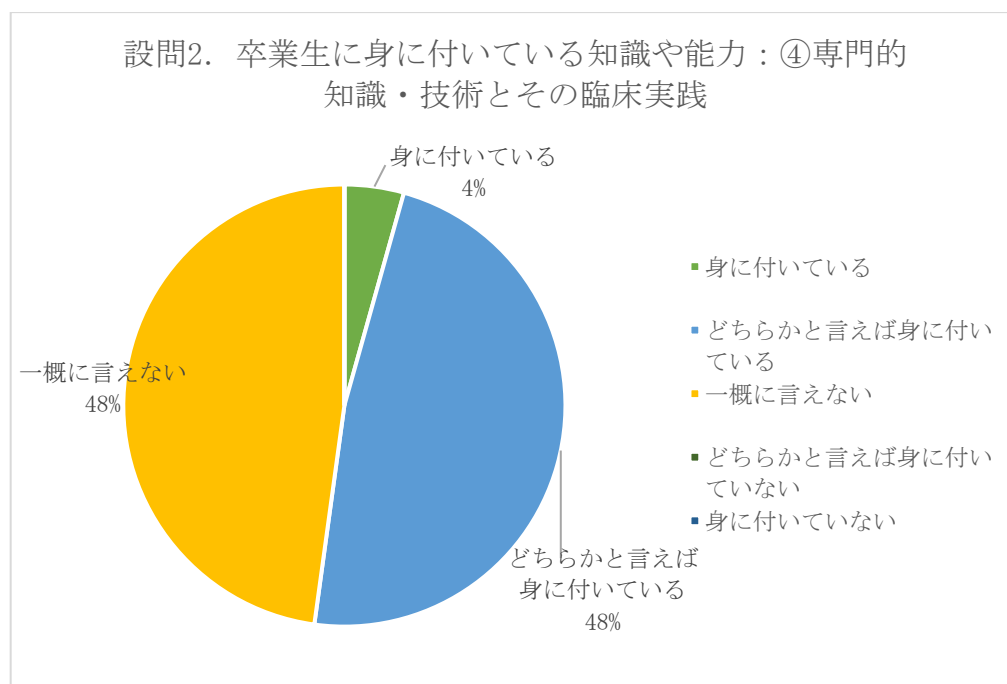
項目②「ケア・スピリット：相手の人生にとっての最善を目指して、自ら進んでケアに向かう姿勢を発揮できる。」は「身に付いている」「どちらかと言えば身に付いている」の合計は61%と高い傾向にあったが、「一概に言えない」が40%近くあり本学ケア・スピリットが身に付いていると言えるには弱い結果となった。



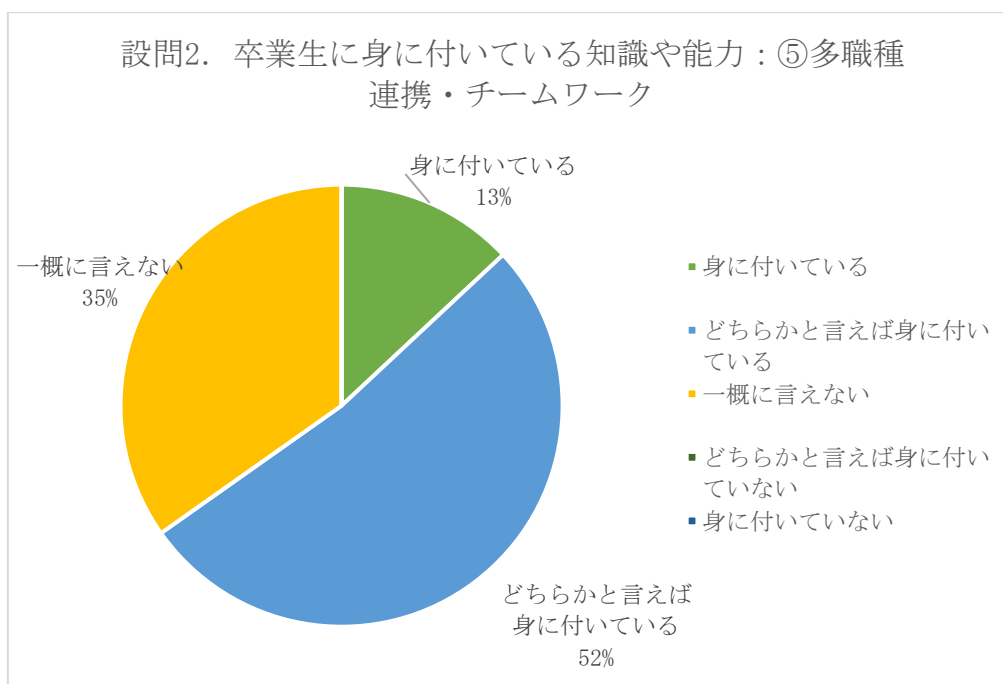
項目③「人間の実践的理解：ケアの相手の意向・気持ち・状況把握を共感的に理解しようと努めることができる。」は「どちらかと言えば身に付いていない」の回答もあるが、相手を共感的に理解しようとする姿勢が身に付いている傾向が70%と高い数値になっている。



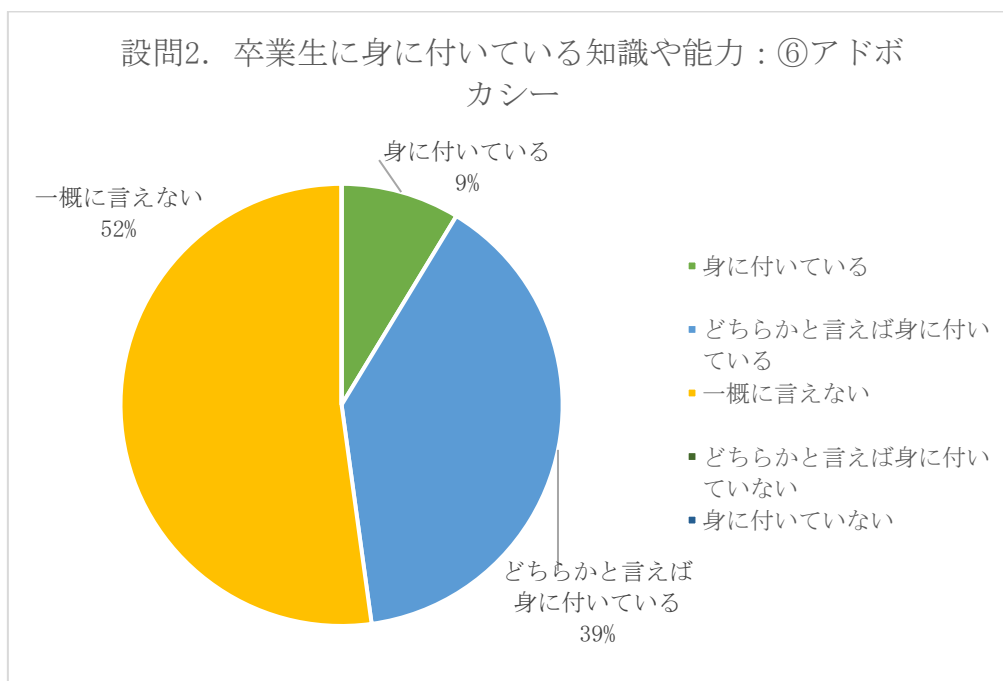
項目④「専門的知識・技術とその臨床実践：看護ケアに必要なコアとなる専門的知識・技術を備え、臨床の場での、具体的な対応に活かすことができる」は身に付いている傾向と「一概に言えない」の割合がほぼ半数となっており、卒業生の専門的知識や技術の充実に疑問が生じる結果となった。



項目⑤「多職種連携・チームワーク：チームメンバーや多職種のケア従事者たちと連携・協働することができる。」は身に付いている傾向が70%と高く、「1）」と一致する結果である。



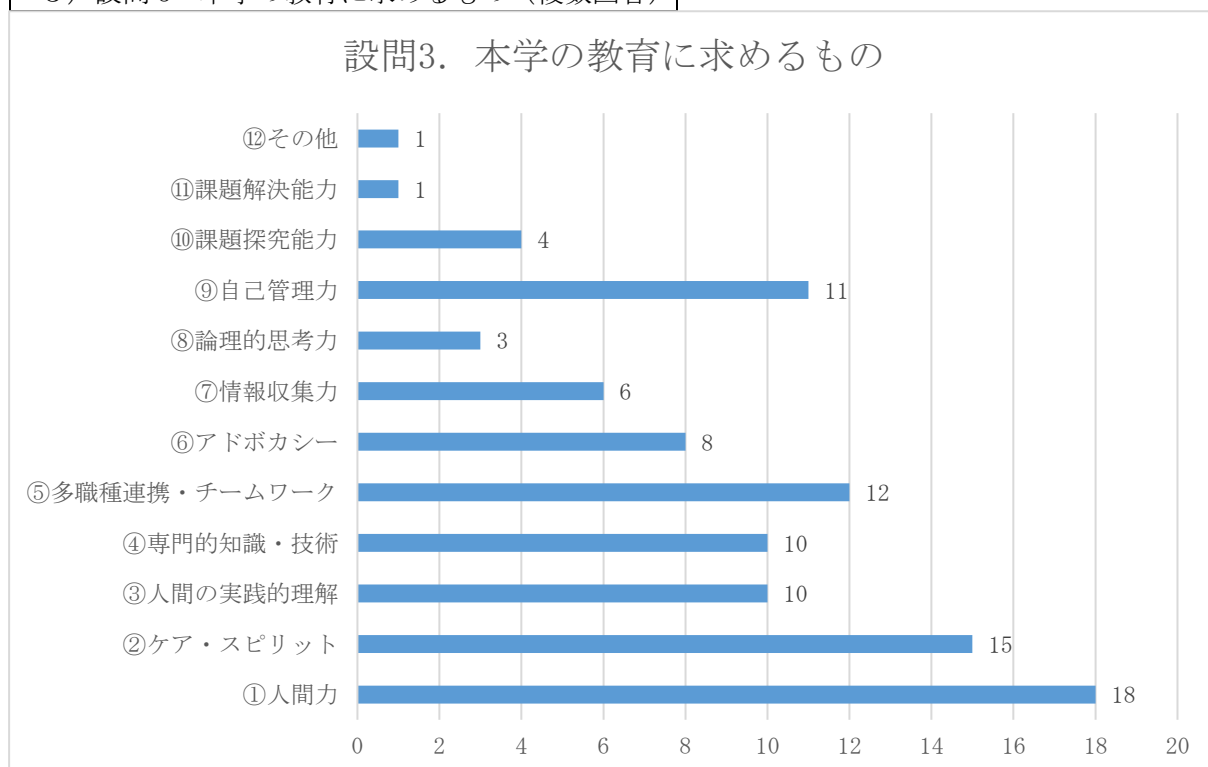
項目⑥「アドボカシー：ケアの相手の側に立って、そのよい人生のために支援し、必要に応じて代弁ができる。」は、身に付いている傾向が48%と伸び悩み、一概に言えないが52%を占めた。卒業生においてはDP6項目の中で最も不足している要素であることが分かる。



【自由記述】

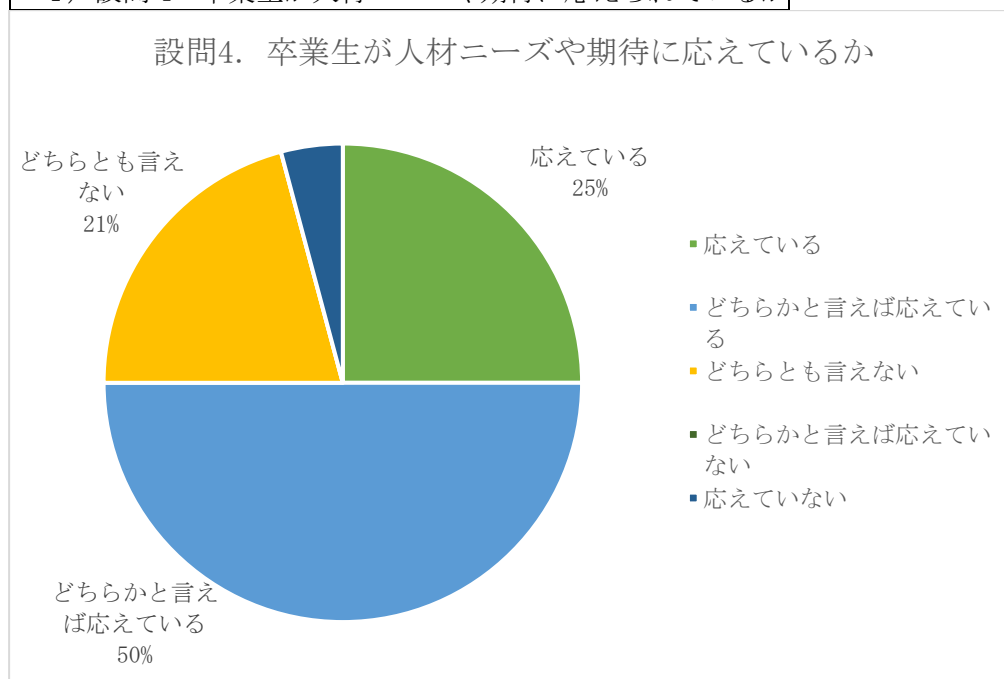
- ・障がいをもつ児に対する看護であることから、実践については、採用後のOJTや指導を通して学んでいただくことの方が多いため、基本的な看護技術を身につけていただきたいと思います。
- ・みなさん前向きに業務に取り組んでおります。
- ・看護師として現場で自立できるのは2年以上要しているのが現状。

3) 設問3 本学の教育に求めるもの（複数回答）



「人間力」が18件「ケア・スピリット」が15件、「多職種連携・チームワーク」が12件、「自己管理能力」が11件、これら比較的回答数が多かった項目は採用時に重視している点と相違ないことが分かる。

4) 設問4 卒業生が人材ニーズや期待に応えられているか



「応えている」「どちらかと言えれば応えている」の合計が75%となっており、比較的満足いただけていることが窺える。ただ、「どちらとも言えない」「応えていない」が25%あることは考慮しなければいけない回答率である。

5) 設問 5 本学卒業生についてお感じになっていること、大学等への要望等について

【自由記述】

- ・現在の業務はこどもの発達相談対応が主であるが、こどもや保護者の相談に丁寧に対応し、また、職員同士のコミュニケーションも上手く、良好な人間関係を築く事が出来ている。2年目ではあるが、自らの業務を責任をもって対応することができており、更に成長できるようフォローしていきたい。
- ・特にありません。これまで通り学生に寄り添って支援してあげて下さい。
- ・入所児の移乗の実施の時に、移乗の経験(就学中に)があるか聞いたところ、「ない」との応答があり、OJTを進めるうえで多少の苦労があったということがスタッフから聞かれました。障がいのある児の看護技術の提供は、基本をベースにした応用力が必要となるので、基本的な技術についてはできるだけ実技経験があると良いと思います。
- ・基本的なコミュニケーション能力は養われていると感じていますが、実習以外でも幅広い年代の方々とふれあえる機会があれば良いと思う。
- ・個人差はありますが、みなさん誠実に業務に取り組んでおります。
- ・卒後の新人研修において、貴学卒業生も含めほとんどの新人が病態生理学の理解が不十分であった。しかし貴学卒業生は自分の知識が不足していることを自覚し、予習など自ら学ぶ姿勢が見られた。1年間でもとても成長しています。
- ・コミュニケーション能力があり多職種との連携も上手く図れています。積極性に少々欠ける面が見受けられますが大きな問題はありません。今後ともよろしくお願い致します。
- ・物事を順序立てて整理する力、優先順位の見分け方が他スタッフより足りず、残業が多くなっています。ですが、真面目にひたむきに頑張ってくれており、嬉しく思っています。
- ・将来的な自身の目指す看護師像にむかって長い目でとりくむことができる人材を求めています。